

— 付加価値アップを担う「機能性塗膜」 —

表面処理の対象素材が多様化し、連動する形でさまざまな表面処理方法が出現している。対象物の「保護」と「美装」を担う塗料・塗装には、選ばれるためにもこれまで以上に他材料・工法との一層の差別化が図れる機能性が求められている。高耐熱性、導電性、遮熱性など数多くの機能性を付与した

塗膜は、被塗物の付加価値向上を果たす。加えて現在では、環境負荷低減も併せて想定した「機能性塗膜」開発が必須条件となっている。製品開発のハードルが上がっている現在、「独創技術企業」による新たな機能性塗膜の開発状況を追った。

新製品「エレアースアークア E AQ」



江戸川合成は「ニーズにこたえる創造力」をスロガンに、塗料事業を展開している。機能性塗料によるプラスαの価値を提供することを得意とし、塗料としての役割と可能性を拡大する一方で、SDGsを見据えた社会貢献を目指し、低VOC化や水性化といった環境負荷低減に積極的に取り組んでいる。

江戸川合成

透明性帯電防止塗料

高い透明性と環境性向上を両立

基材に求められる色相要望の達成が可能となる。導電性を付与させる原料として一般的なカーボンや金属粉は使用しておらず、高い透明性と安定性の確保も可能にした。被塗装物のもつ素材感をスポイルしないことも、同社のアドバンテージである。

もともと導電性塗料を得意としてきたが、顧客から「透明性導電塗料」の要求が増えており、社会的ニーズに応えた形だ。今回同社が開発した帯電防止塗料「エレアースアークア E AQ」は水性塗料であり、「環境サステナブルティ」の高い塗料である。全光線透過率が高く優れた透明性を持ち、長期間、安定した導電性の実現を目的として開発された。プラスチックへの付着性に優れ、無希釈

での使用が可能で、利便性も高い。使用用途として、ESD